

令和6年度 都立文化施設の事業ラインアップ

都立の文化施設では、令和6年度もお客様に楽しんでいただける様々な事業を開催してまいります。
各館の主要な主催事業についてご案内いたします。

江戸東京たてもの園

街の写真師たちが遺したものの
特別展
街に写真館のあった頃
～常盤台写真場と昭和モダン～

2024年7月27日～9月23日

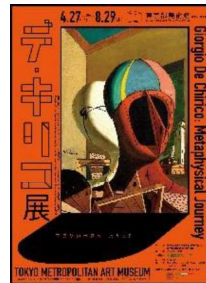


常盤台写真場 昭和12年

東京都美術館

10年ぶりの大規模な回顧展
特別展「デ・キリコ展」

2024年4月27日～8月29日



東京都庭園美術館

再発見された油彩画を初公開
生誕140年 YUMEJI

2024年6月1日～8月25日



竹久夢二《アマリリス》夢二郷土美術館蔵

東京都写真美術館

アメリカを代表する気鋭の写真家
近作中心の独自企画

アレック・ソス

2024年10月10日～2025年1月19日



アレック・ソス
《Anna, Kentfield, California.》、《I Know How Furiously Your Heart is Beating》より
2017年

東京都現代美術館

最大級の現代美術コレクションで
たどる日本の戦後

日本現代美術私観：
高橋龍太郎コレクション

2024年8月3日～11月10日



展覧会ティザービジュアル

トーキョー アーツアンドスペース

6か国12名のアーティストが参加
トーキョーアーツアンドスペース
レジデンス2024成果発表展

第1期 2024年6月29日～8月4日
第2期 2024年8月17日～9月22日



エド・カー《FOX TOOTH》2023

東京都渋谷公園通りギャラリー

日常を捉え直す作品を公開

日常アップデート

2024年6月15日～9月1日



【参考画像】飯川雄大
《デコレータークラブ 配置・調整・周遊》2020年
展示風景：ヨコハマトリエンナーレ 2020
「AFTERGLOW 一光の破片をつかまえる」
PLOT48 撮影：飯川雄大

東京文化会館

幻の映画と電子音楽の融合

舞台芸術創造事業
IRCAMシネマ「狂った一頁」
～ポンピドゥーセンターと
歴史的無声映画のコラボレーション～

2024年11月29日



東京文化会館 小ホール

東京芸術劇場

現代演劇×現代音楽＝新たな音楽劇
2023年ウィーン芸術週間委嘱作品の
日本初演！

東京芸術祭 芸術オースタムセレクション
チェルフィッチュ×藤倉大 with
アンサンブル・ノマド「リビング
ルームのメタモルフォーシス」

2024年9月



©Nurith Wagner-Strauss

東京都江戸東京博物館

休館中も江戸東京の歴史と文化を体感！

館外展示「出張！江戸東京博物館」
(会場：東京都美術館 公募展示室)

2025年2月22日～26日

※大規模改修のため令和4年度より休館中



人力車(複製) 明治時代

※事業名は変更する場合があります。会期は予定です。
上記以外の事業については、別紙をご覧ください。
※一部施設では夏季期間中に「サマーナイトミュージアム」(夜間特別開館)を
開催予定です。
※今後の状況により、予定が変更となる場合があります。
※事業は、東京都令和6年度予算が東京都議会で可決された場合及び、
公益財団法人東京都歴史文化財団令和6年度予算が財団理事会で可決され、
同評議員会が承認した場合に確定します。

<お問い合わせ先>

生活文化スポーツ局文化振興部 文化事業課
公益財団法人東京都歴史文化財団 総務部 総務課
アーツカウンシル東京 企画部 広報課

※個別の事業につきましては、別紙に記載の各施設の担当者までお問い合わせください。

電話：03-5000-7237
電話：03-6256-9070
電話：03-6256-9967

東京都江戸東京博物館

事業名	会期	概要
特別展「近代版画の東京」	2024年10月 ～2025年1月頃	2022年度に続き、パリにて東京都江戸東京博物館の収蔵品展の第2弾を開催します。これまでパリの公立美術館で大きく紹介されてこなかった新版画などの日本近代版画により、1920-40年代の東京の近代化を紹介。特に川瀬巴水らの風景版画を取り上げ、都市東京の魅力を探ります。パリの秋の展覧会シーズンに江戸博コレクションの名品を世界に発信します。 会場・共催：国際交流基金 パリ日本文化会館(予定)
館外展示「出張！江戸東京博物館」	2025年2月22日 ～26日	東京都江戸東京博物館の常設展示室の魅力をコンパクトに詰め込んだ展覧会です。人力車などの体験模型を中心に、体験しながら江戸東京の歴史と文化を学ぶ当館ならではの展示をお楽しみいただけます。体験模型の理解を深める関連資料や複製資料を含む収蔵品のほか、江戸東京の歴史や文化に関連する特集展示も注目です。 会場：東京都美術館 公募展示室
えどはくカルチャー	年12回程度開催	東京都江戸東京博物館の学芸員などの講師が、江戸東京の歴史と文化に関する調査研究の成果を分かりやすく解説する「えどはくカルチャー」。江戸東京のさまざまなことから楽しく学べる環境を提供する大人気の講座シリーズです。休館中も都内他会場にて引き続き実施します。 会場：東京都美術館 ほか
えどはく移動博物館	出張ワークショップ年 16回程度 出張展示年3回程度	教育普及事業として、「移動博物館」と題し、出張ワークショップや出張展示を実施します。ワークショップでは、生活の中で親しまれてきた道具や江戸の文化が感じられるアイテムを使った体験型のプログラムを実施。展示では、江戸時代から近現代までを対象に、レプリカや模型、パネルなどを展示します。学芸員が、授業・研修・イベントなど対象者のニーズに即して実施します。 対象：東京都内の学校、高齢者施設 など
観る・学ぶ・楽しむ えどはくスペシャル公演	年4回程度開催	東京の文化の源流にある伝統芸能を次世代へ継承するため、当館主催の「観る・学ぶ・楽しむ えどはくスペシャル公演」を開催します。都民が気軽に伝統芸能を楽しめるよう、初心者や子供たちにも親しみやすいプログラムを実施し、学芸員による解説なども行います。休館中も都内他会場にて引き続き開催します。 会場：都内ホール施設 など

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網 1-4-1

電話：03-3626-9974 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※大規模改修工事のため、2025年度中(予定)まで休館中です。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

江戸東京たてもの園(1)

事業名	会期	概要
特別展 江戸東京博物館コレクション ～江戸東京のくらしと乗り物～	2024年3月23日 ～7月7日	2022年4月より大規模改修のため休館に入った東京都江戸東京博物館のコレクションを元に、江戸東京の歴史や生活文化を紹介する展覧会です。 江戸時代以来、さまざまな乗り物が江戸、東京に登場しました。駕籠(かご)、自転車、人力車、電車などの乗り物の果たした役割や背景などを紹介します。
こどもの日イベント	2024年5月4日、5日	ゴールデンウィーク期間中の2日間、こどもの日にちなんだ企画を実施します。鯉のぼりがそよぐ広場では、大人も子供も一緒に昔のあそびを楽しめます。また、商店建築が建ち並ぶ一画では、おつかいが体験できる催しを行うなど、建物を活用して昔の暮らしを体験できます。
特別展 街に写真館のあった頃～常盤台写真場と昭和モダン～	2024年7月27日 ～9月23日	1937(昭和12)年に建てられた昭和モダンのデザインが美しい常盤台写真場にスポットを当てる展覧会。昭和までは、「街の写真館」は家族や家の記録を残すための重要な施設でした。その後コンパクトカメラの普及により、人々の生活の中での写真館の位置づけは変化していきます。本展では写真が人々の生活にどのように関わってきたか、そしてカメラや写真が今後どのように変化を遂げるのかを見ていきます。
夜間特別開園 下町夕涼み	2024年8月3日、4日	開園時間を特別に延長し、夏の夕べの過ごし方を体感していただける催しです。園内の「下町中通り」では、提灯や建物のあかりがともる復元建造物の商店が下町の夏の風情を感じさせます。伝統的な日本の民家では、夕べの涼やかな風を感じながら過ごしていただけます。
特別展 武蔵野の歴史と民俗～「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち～	2024年10月5日 ～12月15日	江戸東京たてもの園の前身、「武蔵野郷土館」が収集してきた考古資料や歴史資料のほか、生活民俗資料を紹介します。また、現在当園が公開している復元建造物のうち、武蔵野郷土館が収集し、民俗園として野外展示をしていた5棟をパネルで紹介いたします。
夜間特別開園 紅葉とたてものライトアップ	2024年11月23日、 24日	紅葉が深まる時季に合わせ、特別に開園時間を延長して行う催しです。園内の色付く木々と歴史的建造物をほのかな光で美しく照らし出し、建物の中にはあたたかなあかりがともる、昼間とは趣の異なる夜のたてもの園を散策していただけます。仕立屋のガス灯の点灯、民家の囲炉裏や洋館の暖炉に火を入れる催しなど、昔のあかりやぬくもりを体感いただけます。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話：042-388-3300 <https://www.tatemonoen.jp/>

【開園時間】9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

【休園日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

江戸東京たてもの園(2)

事業名	会期	概要
たてもの園でお正月	2025年1月2日、3日	正月2日、3日に入園無料の特別開園を行い、皆様をお迎えします。園内の復元建造物にしめ飾りや門松を立て、獅子舞や太神楽などの新年にふさわしい伝統芸能をご覧いただけます。また、江戸時代より庶民に親しまれていた縁起物の「宝船絵」(印刷物)を先着順で配布します。
成人の日はたてもの園へ	2025年1月13日	ハレの日の記念に、歴史ある建造物が建ち並ぶ江戸東京たてもの園で新成人をお祝いする催しです。人力車での園内めぐりのほか、復元建造物である写真館内のスタジオでは、お手持ちのカメラで記念撮影ができます。新成人は無料でご入園いただけます。
特別展 江戸東京博物館コレクション ～江戸東京のくらしと食べ物～	2025年3月20日 ～6月15日	江戸東京の歴史を「食」という観点から見る展覧会です。世界的に評価の高まっている和食が江戸の庶民生活の中から生まれてきたという経緯に着目した「生成」、明治維新以降西洋料理を積極的に受け入れた「受容」、異なる食文化がうまく混ざりあって新しい食文化が生まれる「融合」の3つの観点から、江戸東京における食文化の変遷を描きます。
たてもの園フェスティバル	2025年3月27日、28日	小金井公園にある1,700本の桜のつぼみがほころぶこの時季、子供から大人まで一緒に楽しめる催しを行います。誰もが参加できるクイズラリーをはじめ、伝統工芸の実演や職人の技を体験できるワークショップ、アーティストによるパフォーマンスなどさまざまな事業を行います。開園記念日の3月28日は無料でご入園いただけます。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話：042-388-3300 <https://www.tatemonoen.jp/>

【開園時間】9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

【休園日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都美術館(1)

事業名	会期	概要
特別展「デ・キリコ展」	2024年4月27日 ～8月29日	ジョルジョ・デ・キリコ(1888-1978)のおよそ70年にわたる画業をさまざまなテーマに分け、初期から晩年までの絵画を余すところなく紹介します。さらに、彼が手掛けた彫刻や舞台美術も展示する、日本では10年ぶりの大規模な回顧展です。デ・キリコ芸術の全体像に迫り、その唯一無二の表現力を堪能できる、またとない機会となるでしょう。
都美セレクショングループ展 2024	2024年6月10日 ～30日	従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、東京都美術館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し、審査により選出した3グループの展覧会を開催します。
企画展「大地に耳をすませ 気配と手ざわり」	2024年7月20日 ～10月9日	本展では、自然に深く関わり制作をつづける5人の現代作家(榎本裕一、川村喜一、倉科光子、ふるさかはるか、ミロコマチコ)を紹介します。自然に分け入り心動かされ、風土に接し生み出された作品は、人間中心の生活の中では聞こえにくくなっている大地の息づかいを伝えてくれます。絵画、写真、版画、インスタレーションなどさまざまな作品をとおして、自然と人の関係性を問い直します。
特別展「田中一村展 奄美 の光 魂の絵画」	2024年9月19日 ～12月1日	画壇から距離を置き、自らの芸術の探究に生涯を捧げた孤高の画家・田中一村(1908-1977)の大回顧展です。神童と称された幼年期から、奄美での最晩年の作品まで、独自の歩みを貫いた「不屈の情熱の軌跡」をご覧ください。関連資料も充実の展覧会です。
上野アーティストプロジェクト 2024	2024年11月16日 ～2025年1月8日	公募団体展と共に歩み続けてきた東京都美術館の歴史と伝統を踏まえ、毎年魅力的な企画テーマを設定し、公募団体などで活躍している作家などを紹介する「上野アーティストプロジェクト」の第8弾です。
コレクション展	2024年11月16日 ～2025年1月8日	同時開催の「上野アーティストプロジェクト2024」にあわせ、都立美術館、博物館などの作品を活用した展覧会を実施し、上野を訪れる美術愛好者に東京都のコレクションを積極的に紹介します。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園 8-36

電話：03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)

【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都美術館(2)

事業名	会期	概要
特別展	2025年3月～7月	海外の美術館などが所有する著名な美術作品を展示し、多くの方に芸術鑑賞の機会を提供します。
東京都美術館×東京藝術大学 「とびらプロジェクト」	通年	美術館を拠点にアートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト「とびらプロジェクト」。毎年広く一般から募集するアート・コミュニケータ(とびラー)と、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家が共に美術館を拠点に、芸術や文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動を展開しています。年間を通して、一般の方が参加できるプログラムを実施し、2月頃にはフォーラムも開催します。
建築ツアー	奇数月の第3土曜日 など年15回程度	展覧会だけではなく、美術館の建物そのものも楽しんでほしい！そんな思いから始まったツアーです。東京都美術館のアート・コミュニケータ(とびラー)の案内で、館内外を散策し、建築の魅力に迫ります。ガイド個々人のオリジナリティが発揮され、それぞれ独自のツアーを展開中です。各回のツアー日時・内容は、当館の公式ウェブサイトにて随時お知らせします。(要事前申込)
障害のある方のための 特別鑑賞会	特別展ごとに1回開催	障害のある方がゆったりと安心・安全に特別展を鑑賞できるよう、休室日に特別鑑賞会を開催しています。特別展ごとに1回開催し、東京都美術館のアート・コミュニケータ(とびラー)が当日のサポートをします。(要事前申込)
Museum Start あいうえの	通年	Museum Start あいうえのは上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子供と大人が学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。ファミリー&ティーンズ・プログラム、学校プログラム、ダイバーシティ・プログラムを年間をとおして開催し、ミュージアムが持つ豊かな文化資源を使った主体的な学びの場を継続的に支援していきます。(要事前申込)
Creative Ageing ずっとび	通年	誰もがクリエイティブに歳を重ねられる社会を目指し、シニア世代の方々を対象にした参加型の鑑賞や異世代交流の機会、認知症のある方を対象にしたプログラムなどの企画を実施します。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園 8-36

電話：03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)

【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都美術館(3)

事業名	会期	概要
「アート・コミュニケーション事業を体験する 2024」	2024年7月30日 ～8月11日	2012年から始まったアート・コミュニケーション(AC)事業の歩みとそのエッセンスを振り返り、多彩なAC事業が体験できる特別企画を開催します。会場では展示に加えて、多様なバックグラウンドを持つ市民のアート・コミュニケーター(とびラー)と一緒に、さまざまなアート・コミュニケーションが楽しめる場を作ります。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園 8-36

電話：03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)

【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館
特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都庭園美術館

事業名	会期	概要
旧朝香宮邸を読み解く A to Z	2024年2月17日 ～5月12日	東京都庭園美術館の本館は、1933年に旧皇族朝香宮の邸宅として建てられ、アール・デコ様式を正確にとどめる貴重な建築物として国の重要文化財に指定されています。本展は、旧朝香宮邸にまつわる頭文字AからZまでのキーワードを読み解きながら、新たな見どころや魅力を紹介します。また、伊藤公象(1932-)と須田悦弘(1969-)をゲストアーティストに迎え、本館や庭園にて、旧朝香宮邸をさらに深く読み解く手がかりとなるようなインスタレーションを展開します。
生誕140年 YUMEJI	2024年6月1日 ～8月25日	大正ロマンを代表する芸術家・竹久夢二(1884-1934)を紹介する展覧会。時代感覚を先取りするパイオニアでもあった夢二は、美術の分野のみならず、文学、音楽などあらゆる分野で活躍しました。本展では、夢二生誕の地である岡山県の夢二郷土美術館のコレクションを中心に、再発見された油彩画や初公開となるスケッチなどを展覧すると共に、日本だけでなく欧米でも過ごした夢二の生涯を、新たな視点と研究から選んだ作品・資料により振り返ります。
建物公開2024	2024年9月14日 ～11月10日	年に一度の建物公開展。今回は本館(旧朝香宮邸)内の照明に着目し、写真や資料をもとにデザインの源泉や見どころなどを解説します。ランプ類を本館の室内に配置し、新館の展示室では、アール・ヌーヴォー期からアール・デコ期にデザインされたものを中心に、照明器具を一堂に会します。建物公開展では恒例となる家具や調度を用いた情景再現、窓のカーテンを開けて自然光を採り入れた室内空間の演出なども行います。
鉄とガラス 青木野枝/三嶋りつ恵	2024年11月30日 ～2025年2月16日	現代を代表する二人の女性作家、鉄の造形で知られる青木野枝(1958-)とガラスを用いる三嶋りつ恵(1962-)の二人展。旧朝香宮邸にも装飾に用いられている鉄とガラスという二つの素材をとおして、私たちの生活を照らし出し、生命の輝きを想起させる現代美術の世界観を紹介します。両作家とも、旧朝香宮邸の装飾様式を独自の視点で読み解き、空間の特性や魅力を採り込んだ、新作インスタレーションを発表します。
戦後西ドイツのグラフィックデザイン	2025年3月8日 ～5月18日	ドイツ個人コレクター所蔵の貴重なグラフィックデザイン資料を日本で初めて紹介します。冷戦時代において東西に分断されたドイツでは、バウハウス(1919年設立の総合的造形学校)の流れを汲むウルム造形大学などの優れた教育機関が中心となり、新しい時代の表現が模索されていました。本展では、「イラストレーション」「写真」「タイポグラフィ」「ジオメトリー・アブストラクション」の4つのテーマを軸に、斬新かつ理知的なデザインを多数生み出したドイツのグラフィックデザインの魅力に迫ります。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都庭園美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都庭園美術館

〒108-0071 港区白金台5-21-9

電話：03-3443-0201 <https://www.teien-art-museum.ne.jp>

【開館時間】10時～18時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都写真美術館(1)

事業名	会期	概要
記憶:リメンブランス	2024年3月1日 ～6月9日	写真・映像は、人々のどのような「記憶」を捉えようとしてきたのでしょうか。国内外の現代作家による写真・映像の意味を問い直す作品をとおして、ヒトの記憶のシステムにも視点を向けながら、「パーソナルな記憶」と時代に刻まれた「パブリックなイメージ」の両面について考える展覧会です。 出品作家:篠山紀信、米田知子、グエン・チン・ティ、小田原のどか、村山悟郎、マルヤ・ピリラ、Satoko Sai+Tomoko Kurahara
TOPコレクション 時間旅行	2024年4月4日 ～7月7日	東京都写真美術館コレクションをめぐる時間の旅がテーマです。詩人・童話作家の宮沢賢治が1924(大正13)年に刊行した『心象スケッチ 春と修羅』序文の言葉を手がかりに、過去と現在が出会い、「ここ」と「どこか」が重なりあう写真・映像の旅をお届けします。「百年前=1924年」「20世紀の旅」「かつて、ここで」「時空の旅」といったセクションに分けて、37,000点以上におよぶ当館のコレクションを中心に、選りすぐりの名品を紹介します。
今森光彦 里山をめぐる旅	2024年6月20日 ～9月29日	人と自然との関わりを、美しい映像と親しみやすい文章で伝えつづける自然写真家・今森光彦(1954-)の個展。今森は、人間を含む生態系をまるごと「里山」として捉え、多様性にあふれる里山の概念をすぐれた映像により可視化し、その重要性を世界に向けて発信してきました。人間と自然が共生する奇蹟の空間を鮮やかに浮かびあがらせ、我が国の自然の豊かさについて多くの人々に新たな発見を促す、「里山」をめぐる数々の旅。皆様と一緒にその魅力に迫ります。
TOPコレクション 見るということ	2024年7月18日 ～10月6日	写真の発明以前から、視覚に関する研究は数多くなされてきました。私たちが普段当たり前のように行っている「見る」という行為は、歴史的にどのように変化してきたのでしょうか。本展では、イメージであふれている現代の視覚情報の多様化に焦点を当てると共に、「見る」ことの歴史・経験の豊かさを感じさせる当館所蔵の国内外の名品をとおし、私たちの日常生活における「見る」という行為を捉えなおしてみます。
映像展 映像のはじまり、はじまり	2024年7月27日 ～11月3日	日本を代表するメディアアーティストであり、東京都写真美術館の収蔵作家でもある岩井俊雄(1962-)の作品を中心とし、当館所蔵の映像資料作品を活用して、映像の歴史や仕組みを分かりやすく紹介します。当館のコレクションのひとつでもある「初期映像装置」が、どのように現在のメディアアートに影響を与え、発展してきたかをたどります。
アレック・ソス	2024年10月10日 ～2025年1月19日	国際的な写真家集団・マグナムの正会員であり、生まれ育ったアメリカ中西部を題材とした作品で、世界的に高い評価を受ける写真家、アレック・ソス(1969-、アメリカ・ミネソタ州生まれ)の個展。展覧会・写真集共に多くの支持を得る作家の近作《I Know How Furiously Your Heart is Beating》を中心に、当館独自の企画により会場を構成し、「写真で物語を紡ぎ出す」ような表現の魅力をお伝えします。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話: 03-3280-0099 <https://www.topmuseum.jp>

【開館時間】10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都写真美術館(2)

事業名	会期	概要
日本の新進作家 vol.21	2024年10月17日 ～2025年1月19日	写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘すると共に、新たな創造活動を紹介するグループ展。写真や映像を柔らかな視点で捉え、多様な手法、題材により制作する作家たちの作品を、現代写真・映像の曖昧な輪郭にさまざまな角度から光を当てて紹介します。これからの写真・映像ではどのようなことができ得るのかを考える展覧会です。
恵比寿映像祭2025	2025年1月31日 ～2月16日 (3階展示室のみ 3月23日まで)	映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現を過去から現在、そして未来へと継承し、事業を通じてさまざまなジャンルとの対話を促す映像とアートの国際フェスティバル。国内外の美術館、関係機関、近隣との連携を深めながら、映像文化の拠点として多彩な事業を推進し、恵比寿・東京都写真美術館と周辺地域から発信します。将来性が高く、優れた日本の映像作家へ制作委嘱した作品を展示・上映、収録し、国内のみならず国外へも発信していく事業など、国際発信力の高い事業を展開します。
鷹野隆大	2025年2月27日 ～6月8日	当館の第三期重点収集作家である、鷹野隆大(1963-)の個展。鷹野は、ジェンダーをテーマとする作品と並行して「毎日写真」や「カスババ」といった日常のスナップショットも手がけるほか、東日本大震災以降、自身の大きな心境の変化から「光と影」といったテーマにも取り組み始めました。急速な時代の変化にともない、新たな表現を模索し続ける作家の最新作を含め、多様な側面に焦点を当てると同時に、2000年以降の日本の写真の動向と今後に迫ります。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話：03-3280-0099 <https://www.topmuseum.jp>

【開館時間】10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都現代美術館(1)

事業名	会期	概要
ホー・ツーニエン エージェントのA	2024年4月6日 ～7月7日	美術のみならず、映画や演劇の分野でも世界的に活躍するシンガポール人アーティスト、ホー・ツーニエン(1976-)の個展。東南アジアの歴史的な出来事や思想、アイデンティティに独自の視点から切り込む6点の映像インスタレーション作品と、国内初公開となる最新作を紹介します。
翻訳できない わたしの言葉	2024年4月18日 ～7月7日	個人のアイデンティティに関わる「わたしの言葉」に焦点を当て、日本における言語状況や言語権に触れつつ、翻訳によって意味を伝えるだけではこぼれ落ちてしまいかねない、それぞれの人の言葉について考えるグループ展。言語的少数者(手話やアイヌ語、琉球諸語などの話者)や移住者などの多様な言語実践と障壁が日本社会の中にあることを、現代美術をとおして紹介します。
MOTコレクション	2024年4月6日 ～7月7日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。
日本現代美術私観: 高橋龍太郎コレクション	2024年8月3日 ～11月10日	高橋龍太郎コレクションは、収集を開始した90年代より現在に至るまで、質・量ともに日本の現代美術の最も重要な蓄積として知られています。本展は、1946年に生まれ、戦後の変遷を目撃してきた一人のコレクターが捉えた現代日本の姿を、時代に対する批評精神あふれる作家たちの代表作と共にたどります。
開発好明展	2024年8月3日 ～11月10日	日常の出来事を出発点に、コミュニケーションを含んだ表現に挑み続けてきた開発好明(1966-)の都内美術館初となる大型個展。作家の全面的な協力のもと、初期の実験的な試みから、参加型作品含む代表的なプロジェクト、本展のための新作まで包括的に紹介。パフォーマンス、ワークショップ、公開制作などを多数行い、動きと変化、出会いと対話が起こる場を創出します。
MOTコレクション	2024年8月3日 ～11月10日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

＜お問い合わせ先＞

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話: 03-5245-4111 <https://www.mot-art-museum.jp>

【開館時間】10時～18時(美術館開館日)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都現代美術館(2)

事業名	会期	概要
MOTアニュアル2024	2024年12月14日 ～2025年3月30日	MOTアニュアルは、異なる文化や表現領域が混合する空間としての東京に拠点を置く東京都現代美術館の視点から現代美術の一側面を切り取り、問いかけや議論の始まりを引き出すグループ展です。1999年に第1回が開催されて以来、20回目という節目を迎える「MOTアニュアル2024」では、私たちが生きるこの世界に新たな可能性を開き、変化をもたらすことが期待される新進作家の多様な表現を紹介します。
MOTコレクション	2024年12月14日 ～2025年3月30日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。
坂本龍一 音を視る 時を聴く	2024年12月21日 ～2025年3月30日	世界的に知られる音楽家・アーティスト坂本龍一(1952-2023)のアート作品を包括的に紹介する、日本初となる大規模個展。東京都現代美術館のダイナミックな展示空間に、坂本が本展のために構想した新作を含む大型サウンドインスタレーションを展開。それらにクロニクル(編年史)展示を加え、坂本の先駆的・実験的な創作活動の軌跡を立体的にたどります。
TOKYO ART BOOK FAIR 2024	2024年11月28日 ～12月1日	TOKYO ART BOOK FAIR 2024では、独創的なアートブックやZINE(自主制作出版物)を制作する国内外の出版社、ギャラリー、アーティストら出展者が会場である東京都現代美術館に集結し、それぞれの印刷物の魅力を直接のコミュニケーションをとおして来場者へと伝えます。一つの国や地域の出版文化に焦点を当てる企画「Guest Country」や、老舗から新進気鋭の出版社、さまざまな分野で活躍するアーティストやデザイナーらを紹介する展示やトークイベントにより、豊かな出版シーンをひもときます。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話：03-5245-4111 <https://www.mot-art-museum.jp>

【開館時間】10時～18時(美術館開館日)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)(1)

会場:TOKAS本郷

事業名	会期	概要
TOKAS-Emerging 2024	第1期 2024年4月6日 ～5月5日 第2期 2024年5月18日 ～6月16日	これまで300名以上の新たな才能を紹介してきた、若手アーティストの個展開催プログラム。日本在住35歳以下の作家142組の応募者から、6名を選出しました。平面や立体、映像、インスタレーションなど多岐にわたる作品を、2会期に分けて紹介します。
トーキョーアーツアンドスペース レジデンス2024成果発表展	第1期 2024年6月29日 ～8月4日 第2期 2024年8月17日 ～9月22日	TOKASのレジデンス・プログラムの参加作家による成果発表展。2023年度に海外の提携機関に派遣した作家やTOKASレジデンス(東京都墨田区)に滞在した作家たちが、リサーチを経て発表させた作品を紹介します。
TOKAS Project Vol. 7	2024年10月5日 ～11月10日	多文化的な視点を通じ、アートや社会など、さまざまなトピックについて思考するプログラム。海外のアーティストやキュレーター、アートセンターや文化機関などと協働して行う展覧会や関連プログラムを実施します。
OPEN SITE 9	第1期 2024年11月23日 ～12月22日 第2期 2025年1月11日 ～2月9日	ジャンルを問わず新しい表現を創造し、社会へと開いていく意欲に満ちた企画が集まるプラットフォームを目指した、企画公募プログラム。選出された展示やパフォーマンスなど多岐にわたる企画を実施します。
ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 7	2025年2月22日 ～3月23日	TOKASの活動支援プログラムに参加経験があり、注目すべき活動を行っているアーティストを中心に企画展を開催します。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細はトーキョーアーツアンドスペース広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペースオフィス》

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
電話：03-5245-1142 <https://www.tokyoartsandspace.jp/>
【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)

《トーキョーアーツアンドスペース本郷》

〒113-0033 文京区本郷2-4-16
【開館時間】11時～19時 【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始
※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS) (2)

会場:TOKASレジデンシー

事業名	会期	概要
キュレーター・トーク	2024年5月 2024年10月 2025年2月	TOKASレジデンシー(東京都墨田区)に滞在するキュレーター招聘プログラムの参加者がレクチャー形式で自身の活動や拠点の国/地域のアートシーンについて紹介します。
オープン・スタジオ 2024-2025	2024年7月19日 ～21日 2024年11月15日 ～17日 2025年3月14日 ～16日	TOKASレジデンシーでは年間約50組のクリエイターが滞在し、創作やリサーチを行っています。7月、11月、3月にはクリエイターの滞在中の活動や制作した作品を公開します。トークイベントや、スタッフによる作品解説、施設見学ツアーも行います。
普及プログラム	2024年8月	鑑賞者と作家/作品を多角的につなぐ普及プログラムの一環で、アーティスト・イン・レジデンスについてのシンポジウムを開催します。

会場:東京都現代美術館

サエボーグ「I WAS MADE FOR LOVING YOU」/ 津田道子「Life is Delaying 人生はちょっと遅れてくる」 Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞記念展	2024年3月30日 ～7月7日	東京都とTOKASが2018年に創設した海外での活動に意欲がある中堅アーティストが対象の「Tokyo Contemporary Art Award」。第4回の受賞者、サエボーグと津田道子が受賞を経て制作した新作を中心に東京都現代美術館で展示します。
---	---------------------	--

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細はトーキョーアーツアンドスペース広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペースオフィス》

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
電話: 03-5245-1142 <https://www.tokyoartsandspace.jp/>
【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)

《トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー》

〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F (オフィス501)
※オープン・スタジオ11時～17時開催、キュレーター・トークは19時～20時30分、普及プログラムは開催時間未定。
※イベント開催時のみ一般公開。
※最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都渋谷公園通りギャラリー(1)

事業名	会期	概要
共棲の間合い -「確かさ」と共に生きるには-	2024年2月10日 ～5月12日	住む、暮らす、生活する、共に行うことを起点に表現する作家たちの作品や活動を紹介します。身近な家族との関係に迫るパフォーマンス、ある食料品に対する愛着、近隣地域のゴミ拾い、日常の出来事から生まれた詩、現代の住居や生活様式を問い直す試みなど、表現のあり方は作家それぞれにユニークです。かれらにとって親密かつ確かなものに出会う場を創出します。
日常アップデート	2024年6月15日 ～9月1日	日常のはかなさ、日常から離脱するための自分だけのユートピア、日々繰り返されていく営み、非日常体験によって見えてくる風景など、作品をとおして、さまざまな視点で「日常」を捉えなおす機会を創出します。他者の「日常」に触れ、個人的だった「日常」の景色が多くの他者と交じり合う日常風景へと広がり、鑑賞者に新たな価値観の獲得を促します。
アール・ブリュット2024巡回展	【東京都渋谷公園通りギャラリー】 2024年9月28日 ～12月22日 【都内巡回会場】 2025年1月～2月	アール・ブリュットの作家や作品を広く東京都内で紹介し、多様な人々の多様な表現に触れる機会をつくります。 東京都と共に区市町村などと連携し、東京都渋谷公園通りギャラリーのほか、都内の2つの会場を巡回します。
今村遼佑×光島貴之 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト展	2025年2月～5月	「感覚」についての対話を続けている美術作家・今村遼佑(1982-)と全盲の美術作家・光島貴之(1954-)。2023年京都で開催された「今村遼佑×光島貴之〈感覚の果て〉」の続編として、2024年5月に渋谷を舞台にリサーチプロジェクトを実施、その記録や成果を展示します。
交流プログラム 今村遼佑×光島貴之 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト展 プレイベント	2024年5月	2025年2月開幕の展覧会プレイベント。美術作家・今村遼佑(1982-)と全盲の美術作家・光島貴之(1954-)が、「感覚」をテーマに行うワークショップなど、ライブ感のある活動をとおして、他者との感覚の違いに触れ、多様な世界の在り方について考える機会や表現の可能性を探ります。
交流プログラム Kids meet 04	2024年7月～8月頃	さまざまなバックグラウンドを持つ子供たちが、アートの体験を通じて偶然の出会いや想像もできないものごとと巡り合い、対話する機会を創出する子供のプログラムシリーズ「Kids meet」。シリーズ4回目は、現代美術家・飯川雄大を講師に迎えます。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京都渋谷公園通りギャラリー

〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F

電話：03-5422-3151 <https://inclusion-art.jp/>

【開館時間】11時～19時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、展示替え期間

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都渋谷公園通りギャラリー(2)

事業名	会期	概要
交流プログラム パフォーマンス・シリーズ RAW04	2024年11月～12月頃	パフォーマンスシリーズ「RAW」では、音楽やダンス、演劇、対話など、展示という形式では扱うことが難しい「生(なま)の表現」が生まれる場を、アーティスト同士や観客の反応を踏まえながら展開します。
交流プログラム アートプロジェクト	2024年4月 ～2025年3月	多様な人々の対話と交流を重ねるアウトリーチ活動やプラットフォームづくり、学芸員が気になるテーマで、さまざまなゲストと生の声を届ける音声コンテンツ配信プログラム「渋谷ギャラジオ」など、あらゆる人が参加しやすいプログラムを実施します。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都渋谷公園通りギャラリー

〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F

電話：03-5422-3151 <https://inclusion-art.jp/>

【開館時間】11時～19時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、展示替え期間

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館(1)

事業名	会期	
上野 de クラシック	2024年4月 ～2025年3月 (年12回) 2024年4月30日 ほか	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に開催するコンサートです。ソロやアンサンブルなどさまざまな形態の演奏をお届けします。平日の午前中を中心に、夜にも開催予定です。 会場:小ホール
創遊・楽落らいぶ ー音楽家と落語家の コラボレーションー	2024年5月 ～2025年2月 (年5回) 2024年5月30日 ほか	ミニ・コンサートと、落語と音楽のコラボレーションの2本立ての公演です。 会場:小ホール
夏休み子ども音楽会 《上野の森文化探検》	2024年8月17日	指揮者の解説を交えた、フルオーケストラによるファミリー向けのクラシックコンサートです。上野地域の美術館、博物館などに無料または割引料金で入場できる特典付きです。 指揮とお話:円光寺雅彦 出演:東京バレエ団 管弦楽:東京フィルハーモニー管弦楽団 会場:大ホール
第22回 東京音楽コンクール	第2次予選 2024年8月23日、 24日、25日 本選 2024年8月28日、 30日、9月1日	新人若手音楽家の発掘を目的としたコンクールです。2024年度は、弦楽、金管、声楽の3部門を対象に開催します。本選ではオーケストラ伴奏による演奏審査を行い、各部門の第1位から第3位の入賞者などを選出し、表彰式を行います。 第2次予選(公開審査) 会場:小ホール 本選(公開審査) 会場:大ホール
オペラBOX『トスカ』	2024年9月15日	小ホールの特性を活かした特色あるオペラ公演を、上野中央通り商店会の協力で、東京音楽コンクール入賞者を起用して開催します。今回は、2018年に初演したブッチェーニの名作を、ワークショップに参加する子供たちと共に再演します。 指揮・音楽統括:園田隆一郎 演出:栗國 淳 会場:小ホール
《響の森》コンサート	2024年9月30日、 2025年1月3日	国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、オーケストラによるコンサートを手頃な料金で鑑賞いただき、クラシック音楽の魅力をお伝えします。 指揮:川瀬賢太郎(9月30日) 管弦楽:東京都交響楽団 会場:大ホール

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話: 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館(2)

事業名	会期	概要
舞台芸術創造事業 歌劇『水車屋の美しい娘』	2024年11月9日	実験的、前衛的な舞台芸術作品を多彩なコラボレーションにより創造・発信する舞台芸術創造事業。シューベルトの歌曲集を歌劇に仕立て上げた新しい舞台作品です。 演出:岩田達宗 振付:山本 裕 出演:小森輝彦(バリトン)、船木こころ(ダンス) ほか 会場:小ホール
新進音楽家国際キャリア アップ支援	2024年11月28日、 12月1日	11月28日:レ・ヴォルク弦楽三重奏団を招聘し、東京音楽コンクール入賞者を中心とした新進音楽家にマスタークラスの機会を提供します。 12月1日:東京音楽コンクール入賞者を中心としたメンバーで構成されている「東京文化会館チェンバーオーケストラ」とレ・ヴォルク弦楽三重奏団の共演による合同コンサートを実施することにより、新進音楽家の国際交流・研鑽の機会を創出します。 会場:小ホール
舞台芸術創造事業 IRCAMシネマ「狂った一頁」 ～ポンピドゥー・センターと歴史的無声映画のコラボレーション～	2024年11月29日	衣笠貞之助監督による幻の映画「狂った一頁」(1926年)を、映画のために作曲された電子音楽と共に楽しみいただきます。 作曲:平野真由 コンピュータ・ミュージック・デザイン(IRCAM): ディオニシオス・パパニコラウ 会場:小ホール
東京音楽コンクール 優勝者&最高位入賞者コンサート	2025年1月13日	第22回東京音楽コンクール各部門優勝者・最高位入賞者の披露演奏会です。各演奏後の司会者によるインタビューを通し、ソリストの人柄も紹介します。 ソリスト:弦楽部門、金管部門、声楽部門の 各優勝者または最高位入賞者 指揮:高関 健 管弦楽:読売日本交響楽団 会場:大ホール
公開リハーサル	年1回程度開催	通常是非公開の「音楽創り」を進めていく過程を無料公開します。新たな公演の魅力や楽しみ方を発見できる事業です。 会場:大ホール
バックステージツアー	複数回開催	普段見ることのできない舞台裏などの見学をとおして、東京文化会館の歴史と事業を多くの方々に知っていただく機会を提供します。<舞台編>と<建築編>と<夏休みスペシャル!>を開催します。 ツアー内容:大ホール舞台装置や出演者が残したサインの見学、照明の操作体験など 会場:大ホール

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話:03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館(3)

事業名	会期	概要
ティータイムコンサート	複数回開催	昼下がりのひと時、大ホールのホワイエで行う無料のコンサートです。 出演者: 東京都交響楽団員 会場: 大ホール ホワイエ
東京音楽コンクール 入賞者支援リサイタル	年5回程度開催	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に、入賞者と東京文化会館との共催によるリサイタルを開催します。 会場: 小ホール
貸館連携事業	年3回程度開催	次世代を担う子供たちや高齢者などを対象とし、貸館利用者との連携により、オペラやバレエ公演と連動したワークショップや公開リハーサル、バックステージツアーなどを行います。 会場: 大ホール ほか
国内外連携事業	年3回程度開催	国内外の文化施設と連携し、若手アーティストの活躍の場の提供などを行います。 会場: 軽井沢大賀ホール ほか
フレッシュ名曲コンサート	年20回程度開催	都内の区市町村及び区市町村が指定する団体との共催によりオーケストラや室内楽のコンサートを実施します。次代を担う新進気鋭の音楽家が毎年活躍しています。 会場: 都内各ホール
Music Program TOKYO Enjoy Concerts!	年32回以上開催	東京の音楽文化の活性化・創造力の向上を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした事業として、多彩なコンサートを実施します。 ・シアター・デビュー・プログラム ・プラチナ・シリーズ ・シャイニング・シリーズ ・3歳からの楽しいクラシック ・まちなかコンサート

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話: 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館(4)

事業名	会期	概要
Music Program TOKYO Workshop Workshop!	年130回以上開催	ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」をはじめとした、国内外のさまざまな機関と連携し、多様なワークショップを開催するほか、ワークショップ・リーダーの育成プログラムを実施します。また地域文化施設と連携し、若手アーティストによる地域活性化を目指す事業に取り組みます。 ・国際連携企画 ・東京ネットワーク計画 ・コンビビアル・プロジェクト
Music Program TOKYO Music Education Program	年100回以上開催	次世代を担う子供たちを中心に、幅広い層に向けて企画された、「創造性」と「参加性」を重視した音楽教育プログラムを通年で実施します。 ・Talk & Lesson ・オペラをつくろう！ ・アウトリーチ・コンサート ・アウトリーチ・ワークショップ

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話：03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：音楽(1)

事業名	会期	概要
シアターオペラ vol.18 プッチーニ/ 歌劇『ラ・ボエーム』	2024年9月21日、 23日	コンサートホールの特徴を最大限に活かしたシアターオペラ・シリーズの第18回。指揮者に井上道義、演出家に森山開次を迎えて上演します。 曲目：歌劇『ラ・ボエーム』全4幕(イタリア語上演/日本語字幕付き) 指揮：井上道義 演出：森山開次 ほか 会場：コンサートホール
オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座)	通年	世界で唯一の回転するパイプオルガンを持つ東京芸術劇場ならではの事業。オルガン・コンサートを低廉な価格でお楽しみいただけます。また、オルガンについての知識を深めたい方を対象にした講座も開講します。 会場：コンサートホール
リサイタルシリーズ	2024年6月18日、 7月10日	世界を舞台に活躍する著名アーティストのリサイタル及び小編成の公演シリーズ。2021年度より「VS」と題し、ピアノ・デュオによる競演/共演をテーマにしたシリーズを実施しています。本年はピアノ・デュオとリサイタルを各1公演実施。 会場：コンサートホール
NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2024年7月27日	自作アルバムのグラミー賞ノミネートなど、世界的に注目を集めるジャズ作曲・編曲家の挟間美帆プロデュースによるシンフォニック・ジャズ・コンサートを開催します。 出演：マリア・シュナイダー(指揮) ほか 会場：コンサートホール
音楽大学オーケストラ・ フェスティバル	2024年12月1日	首都圏の音楽大学及びミュージア川崎シンフォニーホールと連携した共同企画です。11月～12月の公演では、各大学のオーケストラが出演、2025年3月のミュージア川崎公演では、各大学の選抜メンバーによる合同オーケストラの演奏会を実施します。 (2024年12月1日公演) 出演：東邦音楽大学&洗足学園音楽大学 会場：すみだトリフォニーホール 大ホール

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※設備更新工事のため、2024年9月30日から2025年7月中(予定)まで休館いたします。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：音楽(2)

事業名	会期	概要
芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド	通年	プロを目指す若手演奏家を対象とした「アカデミー(人材育成事業)」として、年間をとおして演奏技術の鍛錬や演奏会、セミナーなどの実践的活動を行います。 会場：リハーサルルーム ほか
芸劇×読響 ジュニア・アンサンブル・アカデミー	10日間程度開催	演奏経験のある小・中・高校生を対象に、読売日本交響楽団のメンバーが演奏指導にあたるエデュケーショナル・ワークショップです。読売日本交響楽団のメンバーと共に成果発表を行う機会も予定しています。 会場：リハーサルルーム ほか
読響 土曜／日曜 マチネーシリーズ (共催事業)	5月～9月 (年10回開催)	日本を代表するトップ・オーケストラのひとつ、読売日本交響楽団との事業提携に基づき、土曜・日曜の午後に開催する人気のコンサート・シリーズです。 会場：コンサートホール
コンサートホール 活性化事業 (提携事業)	通年	午前中に開催する人気企画「ランチコンサート・シリーズ」や、青少年向けのNHK交響楽団演奏会など、一流の演奏家による演奏会を手軽にお楽しみいただけるコンサートを通年開催します。 会場：コンサートホール

※この内容は2024年1月30日現在のもので、事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※設備更新工事のため、2024年9月30日から2025年7月中(予定)まで休館いたします。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：演劇舞踊(1)

事業名	会期	概要
「Le Fils 息子」再演＋ 「La Mère 母」	2024年4月	高い評価を得た2018年度「Le Père 父」、2021年度「Le Fils 息子」に続き、フロリアン・ゼレール家族三部作のラストを飾る「La Mère 母」と再演の「Le Fils 息子」をラディスラス・ショラー演出により同時上演します。 会場：シアターイースト、シアターウエスト
梅田芸術劇場主催 東京芸術劇場共催公演 「ヴァイオレット」	2024年4月	藤田俊太郎演出で、2019年ロンドン・チャリングクロス劇場で上演されたミュージカル作品。2020年4月に予定されていた日本人キャストによる上演は、新型コロナウイルスの影響で9月に延期され3日間だけ行われました。今回は新たなキャストで再演します。 会場：プレイハウス
TACT FESTIVAL 2024	2024年5月	毎年ゴールデンウィークに開催している子供も大人も楽しめるフェスティバル。コスチュームアーティストのひびのこづえがダンサーたちとカラフルな世界を展開するダンス作品、ファミリーで楽しめる寄席、川村亘平斎による影絵、コンサート・フォー・ワンファミリー、街角LIVEなど多彩なプログラムを展開。有料公演に加え、無料企画も実施します。 会場：シアターイースト、シアターウエスト、アトリエイースト、ロワー広場 ほか
ホリプロ主催 東京芸術劇場共催公演 「未来少年コナン」	2024年5月～6月	1978(昭和53)年、宮崎駿監督によりテレビ放映、2020年にはNHKデジタルリマスター版としても放映された傑作アニメ作品を世界で初めて舞台化します。 会場：プレイハウス
若手育成 eyes plus	2024年5月～6月	「芸劇が目にする才能たち、」と銘打ち、注目される若手劇団と提携し、若手演劇人の活動を応援します。参加劇団が新たなステップとして「いつもと違うをプラスする。」挑戦を行う「eyes plus」シリーズとして「劇団あはひ」が登場します。 会場：シアターイースト
若手提携公演	2024年6月～7月	人気・実力共に兼ね備え、日本の演劇界を牽引する若手・中堅劇団と提携公演を行います。2024年度は、モダンスイマーズ、範宙遊泳が登場します。 会場：シアターイースト

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※設備更新工事のため、2024年9月30日から2025年7月中(予定)まで休館いたします。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：演劇舞踊(2)

事業名	会期	概要
NODA・MAP主催 東京芸術劇場共催公演 (公演名未定)	2024年夏	日本演劇界を代表する劇作家・演出家であり、東京芸術劇場芸術監督を務める野田秀樹作・演出・出演のスケールの大きな舞台作品を上演します。 会場：プレイハウス
NODA・MAP主催 東京芸術劇場共催 海外公演(公演名未定)	2024年秋	日本演劇界を代表する劇作家・演出家であり、東京芸術劇場芸術監督を務める野田秀樹の新作を英国・ロンドンで上演します。 会場：未定
イキウメ主催 東京芸術劇場共催公演 (公演名未定)	2024年8月～9月	独創的な世界観による演劇表現で定評のある、前川知大率いる劇団イキウメが、過去の傑作レパートリー作品を再演します。 会場：シアターイースト
芸劇dance 中村蓉ダブルビル (公演名未定)	2024年8月	多彩な活躍で注目されるダンサー・振付家の中村蓉が、2022年、2023年に上演し好評を得た作品の再演と新作を合わせ二本立て(ダブルビル)で構成し、東京芸術劇場での単独公演に初挑戦します。 会場：シアターウエスト
芸劇dance若手提携 (公演名未定)	2024年9月	注目を集める実力派のダンサー、振付家、アーティストの作品を上演予定です。 会場：シアターイースト
東京芸術祭 芸劇オータムセレクション 木ノ下歌舞伎「三人吉三」	2024年9月	現代演劇の手法で古典の可能性を探る木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一(監修・補綴)と、歌舞伎から西洋古典劇、現代演劇まで幅広く手掛ける杉原邦生(演出)、年々活躍の場を広げ続ける二人のタッグにより、歌舞伎の名作を復刻、リメイクします。 会場：プレイハウス

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※設備更新工事のため、2024年9月30日から2025年7月中(予定)まで休館いたします。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場:演劇舞踊(3)

事業名	会期	概要
東京芸術祭 芸劇オータムセレクション チェルフィッチュ×藤倉大 with アンサンブル・ノマド 「リビングルームのメタモル フォーシス」	2024年9月	現代演劇をリードするチェルフィッチュの岡田利規と現代音楽を リードする作曲家の藤倉大。世界的注目を浴びるふたりの芸術家 による“新たな音楽劇”。2023年春にオーストリア・ウィーン芸術週 間委嘱作品として初演され、ヨーロッパでも高い評価を受けた作品 を、東京芸術祭の目玉企画のひとつとして上演します。 会場:シアターイースト
東京演劇道場	通年	野田秀樹芸術監督が開設した、次代を担う俳優や演出家などの 演劇人の育成を目指す錬成・交流プロジェクトです。国内外から講 師を招き、ワークショップなどを継続的に行います。 会場:リハーサルルーム ほか
都民半額観劇会	年4回開催(春、夏、 都民の日記念/秋、 冬)	都内劇場で開催される質の高い作品を、都民が低廉な料金で観 劇できる機会を提供し、東京の芸術鑑賞環境の充実を目指すと共に、 将来の演劇人口の裾野を広げ、演劇界の活性化に寄与する 観劇会です。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話: 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時~22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※設備更新工事のため、2024年9月30日から2025年7月中(予定)まで休館いたします。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(1)

事業名	会期	概要
舞台技術セミナー 「創作現場における舞台技術の効果と安全管理」	2025年1月～3月頃	創造性と安全性を両立させながら、舞台を日々支えている舞台技術専門スタッフ。彼らが現場で直面するリスクや問題点を洗い出し、また理想的な舞台芸術と舞台技術のあり方について意見交換するためのセミナーを開催します。さらに、舞台技術者の仕事の魅力やキャリア形成についても発信します。また後日、映像配信も行います。 会場:豊島区内公共施設
ワークショップ ～劇場と社会をつなぐアウトリーチプログラムの開発・実践～	通年	東京芸術劇場で学びを深めたファシリテーターたちがまちへ飛び出し、ワークショップを開催します。世代や国籍、言語などの違いがコミュニケーションの障壁となっているところでは交流促進のためのワークショップを、表現する機会の少ない人々に向けては誰もが楽しめるワークショップを展開します。 会場:都内の学校および支援団体施設など
劇場ツアー	2024年4月～9月	「劇場ツアー」では、劇場見学のほか、劇場内の美術展示品の鑑賞、屋上からのまちの眺望など、ツアーガイドが劇場の歴史や特徴、魅力などについてご案内します。 会場:東京芸術劇場内
人材育成・教育普及 (共催事業)	通年	専門性の高い劇場業務の特質を生かした人材育成事業を拡充するため、大学や高校と連携した学生の公演事業のサポートなどにより、次世代の専門人材を育成します。
芸劇舞台芸術アカデミー	通年	舞台芸術分野や劇場・ホールで働く担い手育成を目的とした総合的人材育成プログラムです。前身の「アーツアカデミー東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修」をリニューアルし、以下3つのプログラムを実施します。劇場・ホールで実践的かつ理論的に学びながら、キャリアスタートからキャリアチェンジまで体系的にサポートします。 ①実務研修員 制作(音楽または演劇)／教育普及・社会共生 ②シアターコーディネーター養成講座 ③公開レクチャー、フォーラムなど
アトリウムの賑わい創造事業	通年	劇場前広場やアトリウム空間などのパブリックスペースを活用し、大道芸や子供たちも体験できるイベントなど、さまざまなプログラムで劇場周辺の賑わいを創出します。また、地元豊島区や池袋エリアの地域主体で実施されるイベントとの連携や、芸術文化の役割、アートを使った街づくりをテーマとしたレクチャーなども開催します。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話: 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※設備更新工事のため、2024年9月30日から2025年7月中(予定)まで休館いたします。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(2)

事業名	会期	概要
東京のはら表現部	通年	「東京のはら表現部」は、障害の有無を問わず、身体のうちから湧き起こる、新しいダンス表現を創造する活動です。対等な関係性のもとで生まれる共生社会が体现された場を創出します。ファシリテーターの人材育成を目的にアウトリーチ活動も実施。障害者支援施設やデイサービスセンターなどに出向き、各施設の利用者の身体特性に合わせた身体表現活動を行うことで、ファシリテーションの実践経験を積みます。
ホワイトハンドコーラス	通年	「ホワイトハンドコーラス」は、障害の有無にかかわらず子供たち誰もが参加できる音楽活動です。東京芸術劇場が一般社団法人エル・システムジャパン、エル・システムコネクトの2団体と共に事業を実施しています。盲学校に通う生徒たちによるコーラスのワークショップなど、視覚や聴覚障害などのある子供たちが音楽をとおしてインクルーシブな表現活動を行います。
社会共生セミナー	通年	共生社会の実現のため、芸術文化をとおして地域の包摂的環境の推進を図るためにはどうすべきなのか、公立文化施設関係者を主な対象として、レクチャーや講座を実施します。文化による多様な価値観の形成と、それを担う公立文化施設職員の知識習得の場を設けます。
都民芸術フェスティバル等	2025年1月～3月	舞台芸術の振興を図ると共に、質の高い舞台芸術を低廉な料金で都民に提供するため、各分野を代表する芸術文化団体の公演事業に助成します。 また、子供向けプログラムを実施し、子供たちが芸術家や芸術団体などと直接触れあうことにより、芸術による表現や創造の喜び、楽しさを理解する機会を創出します。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※設備更新工事のため、2024年9月30日から2025年7月中(予定)まで休館いたします。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場:キッズ・ユース・プロジェクト

事業名	会期	概要
中高生のためのクリエイティブ・キャンプ～dance, art, media～	2024年7月～10月	中高生がプロのアーティストやクリエイターと身体表現や美術などのワークショップを重ね、舞台芸術作品を創作し、東京芸術祭にて上演します。また、メディア発信に特化したシリーズも設け、プロのジャーナリストや専門家たちから「アートを言葉で人に伝える」技術を学び、創作過程や作品上演の魅力を中高生自ら伝えます。

※この内容は2024年1月30日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※設備更新工事のため、2024年9月30日から2025年7月中(予定)まで休館いたします。

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。